

## PC橋梁工事に 従事して



株式会社富士ピー・エス  
関東支店 工事チーム  
ふるかわ せいいちろう  
**古川 誠一郎**

### きっかけ

私は福岡の私立大学を卒業して現在の会社に就職しました。

きっかけは友人の父の紹介でした。就職活動時期の私は、「この職に就きたい」という特別なものはなく、大学でのPCの仕組みを大雑把に理解する程度であり、深く学ぶ機会はありませんでしたが、大学で学んだ土木を通じた就職活動の結果、縁あって現在の会社にお世話になっています。

### 現場での職務とやりがい

私は入社して間もなく10年目を迎えますが、これまで17の橋梁工事現場を経験してきました。最初の現場では右往左往して所長に叱られ、苦労したことを今でも鮮明に覚えています。

工事現場の職務は多種多様で、完全に配慮した施工計画の作成や必要となる資機材の手配に加え、職人さ

んに指示を出し、時には相談しながら工程を組んで円滑に工事を進めなければなりません。

また、何も問題なく工事が完了する現場はまずありません。もちろんそれを目指して仕事をしていますが、元請け含め失敗や現場でのトラブルはつきものです。その失敗に気づきそれを正し、トラブルには迅速に対応して工事を進めることが重要な職務のひとつだと考えています。

工事現場での仕事は大変ですが、出来上がった時の感動は他の業種では味わえないもので、地域住民の方々に「橋ができたら便利になる」「お疲れさん」と声をかけていただく時は何とも言えない気持ちで、頑張つてよかつたなと感じます。そして、自分が携わった橋梁を当たり前のように皆さんに利用していただいていることを陰ながら誇りに思います。

工事現場ごとに異動することになります。この職に就いて、さまざまな地の文化に触れ、出会うことがなかったかもしれない人と出会えたことは貴重な経験となっています。

### 現在の工事

現在は北陸・福井で床版取替工事を行っています。老朽化した高速度路の古い床版を新品に取り替える工

事で、クレーンは200tクラスのものを使用し、工場で作成したPC床版を架設していきます。付随して鋼桁の塗替塗装工事も同時施工しており、繁忙期は慌ただしく動いています。現場橋梁下には鮎で有名な河川があり、落下物などには細心の注意を払っています。

休日は北陸地方を散策しており、特にのどろま水族館で見たジンベエザメは思い出に残っています。冬は積雪で何かと不便ではありますが、しんと静まる雪景色は格別です。

### おわりに

新型コロナウイルスの影響もあり、デジタル化が急速に進む時代となり、テレワーク・在宅勤務・ロボット活用などを毎日耳にします。工事現場でもICT活用による省人化が進んでいます。私は現場のほとんどの仕事に、人の手でしか作れない・人の目では判断できないことが多くあり、これからも社会基盤を支えていくには人の知恵や人の力が必要だと思っています。

土木・建設業の若手技術者の減少が深刻化するなか、これをご覧になられている学生の方が一人でも多く建設業界で活躍されることを期待しています。



▲ のとじま水族館で見たジンベエザメ



▲ 鮎で有名な河川・九頭竜川



▲ 床版取替工事における床版架設状況

# #006 仕事場拝見

## 支店での勤務



株式会社ドーピー建設工業  
東北支店営業部

いつみ あすか  
**五味 明日香**

### 支店のある宮城県仙台市

東北支店は宮城県仙台市にあります。仙台市は「杜の都」とも呼ばれます。都市と緑あふれる美しい街並みが共存しています。冬には光のページェント、夏には東北三大まつりである仙台七夕が開催され毎年多くの人で賑わいます。海と山に面した県内には美味しい食べ物も多く、最近では気仙沼市・登米市が朝の連続テレビドラマ小説の舞台となったことでも話題となるなど、多様な魅力にあふれた場所です。

### 当社との出会い

私は大学の就職支援課の担当の方から勧められたことがきっかけで当社と出会いました。「大学近くにある橋を架けた会社だよ」と説明され、変わった形の橋がすぐに思い浮かびました。毎日のバス通学で通っていたエクストラロード橋が当社施工の橋梁だったからです。自分が知らない間にこの橋梁の利用者となっていたこともあり、橋が人々

の暮らしに密接であることが身近に感じられ、こういうものをつくる仕事に自分も携わってみたいと思うようになり当社へ就職することになりました。

### 仕事の内容

私は営業事務を中心に担当しています。その中でも重要なものとして①応札支援、②指名願い（入札参加資格審査申請）があります。耳慣れない言葉だという方もいらっしゃると思うので、簡単に紹介していきたいと思っています。

皆さんは、工事を施工する会社か？どのように決まるか知っていますか？例えば県などの発注機関が橋を架けようとしたとき、良い施工をより安価に行ってくれる会社を選ぶために入札という方法がとられます。橋の概要等が「公告」として公開され、公告を見て応募してきた会社の中から過去実績や提示金額などをもとに施工会社が決められます。公共事業の入札に参加することを「応札」といいます。

また、公告された工事への応札は誰でもできるわけではありません。公告が出たら入札に参加してもよいという許可を自治体等から事前にもらっておく必要があります。これを「指名願い」といいます。

### 仕事の魅力

事務作業Ⅱひとりですべて仕事を

するというイメージの方もいるかと思いますが、周りとのやり取りが重要になることも少なくありません。

例えば前述した応札業務では、どんな技術を活用してどんな点に気を付けて施工するのかを技術提案という書類にして提出することがあります。営業部では施工予定地の視察調査や橋梁下部工の業者へ話を聞きに足を運ぶ、地域特性などの情報を収集・分析するといったことも行っており、それを提案担当部署と共有することが各案件に沿ったよりよい提案へとつながります。

情報収集等の小さな仕事を積み重ね、施工担当の工事を始めとした様々な部署と連携をはかりながら施工以前の基礎をつくることに携われるという点は、技術職とはまた異なった営業ならではの橋梁へのかかわり方であり魅力でもあるのではないかなと思います。

### 最後に

毎日の業務や周りの方々からのご指導、安全パトロール等で現場を直接見る機会などを通して、専門知識なく入社した自分でも日々成長できていることを実感しています。これからも経験や知識を少しずつ積み重ねることで自分の仕事をアップデートし、現場で働いている皆さんへ還元していくことでよりよい橋をつくることに長く携わって行きたいと思っています。



▲ 仙台七夕まつり



▲ 安全パトロールの様子



▲ 北四番丁大衛線橋梁(エクストラロード橋)

## 橋づくりは 難しいけど面白い



鹿島建設株式会社  
土木管理本部

もり た りょう  
**森田 遼**

### 橋へと興味惹かれた大学時代

私は大学入学時には、漠然ともな  
づくりに興味を持っていました。大  
学で「構造力学」の講義があり、構造  
物の形と力のメカニズムに関して学  
ぶのが面白く、好きな科目の一つで  
した。その構造力学の例題で、よく橋  
のモデルが使われることがあったた  
め、自然と橋に対して興味が惹かれ  
ていました。橋は見た目こそダイナ  
ミックで印象的ですが、力の流れが  
形に表れた合理的な構造物であり、  
人間が作り出した美しい構造物だと  
思います。そのような橋への思いを  
抱きながら、将来は橋を実際につく  
る仕事に携わりたいと思うようにな  
って行きました。設計で計算された  
ものが実際に形になるということに、  
ものづくりの面白さを感じていまし  
たので、設計から施工まで関わられ  
ゼネコンの仕事を志望し、現在の会  
社に入社しました。

### 自分が設計に関わった 橋梁現場への赴任

入社後は希望通り橋梁の設計部に  
配属され、入社一年半ほど経ったとき  
に、初めて現場へ赴任することになり  
ました。幸運にも自分が設計に関わっ  
た橋梁の現場に配属となり、配筋図も  
頭の中に入った状態で赴任したはずで  
した。しかし、現場では職人さんから  
図面に関する質問攻めに悪戦苦闘す  
る毎日で、自分がいかに図面を読み込  
めていなかったのかを痛感しました。  
最初は強面の職人さん達にビクビク  
していた私でしたが、毎日の挨拶から  
始まりいろんな話をする中で、自然と  
信頼関係が築きあげられ、最後は皆  
笑顔で竣工を迎えられました。現場で  
は職人さんをはじめ、多くの人が集ま  
り、その人たちのおかげで橋という巨  
大な構造物がつくり上げられている  
ことに非常に感動しました。また、一方  
で、現場は人の技術や経験に頼りすぎ  
ており、今後技術者が減少する中で、  
現場のIT化による施工技術の革新  
の必要性も強く感じました。

### 初めての更新設計業務

現場に赴任後は橋梁の設計部へと  
戻り、そこで初めて既設橋梁の耐震補  
強設計業務を担当しました。社内に

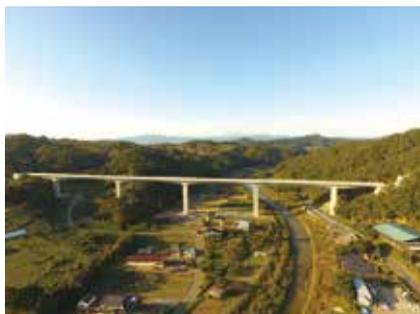
耐震補強設計の経験者がいない状況  
でわからないことだらけの中、示方書  
を隅々まで読んでなんとか設計を進め  
ました。既設橋梁の補強設計は、新設  
と異なり、既に出来上がってしまっ  
て変えられないものが設計を縛る条  
件となるため、非常に難易度が高く、  
大変苦労しました。しかし、難しいか  
らこそやりがいがあったことも事実で、  
この業務の苦労を通して更新設計業  
務の奥深さを学びました。

### 家族が増えて

入社時に独身だった私も、今では結  
婚し、一児の父親となりました。父に  
なつてから、仕事に対する考え方も変  
わつたと思います。家族との時間を大  
切にしたいと思うようになり、なるべ  
く早く家へと帰れるように仕事の効  
率性を以前より意識するようになり  
ました。しかし、実際は膨大な仕事量  
に忙殺される毎日であり、業界全体の  
根本的な改善が必要だとも痛感して  
います。生産性向上と言ってもなかな  
かすぐには改善されませんが、若い  
人が積極的に新しいことを提案し、業  
界全体を変えていく流れを作ること  
が大事だと思っています。そのためにも、  
日々の業務で改善の余地があるもの  
に対して積極的に変えていくことを  
心掛けていきたいと思っています。



▲ お世話になった職人さんたちとの懇親会(前列左から2人目)



▲ 初めて赴任した橋梁現場の完成時全景



▲ 初めて赴任した橋梁現場の施工時の状況